



無人ヘリ防除受委託での活用を実証

無人ヘリ防除受委託では、農家、JA、散布業者等が散布する圃場や日時を事前に確認することが不可欠です。今回はZ-GISを無人ヘリ防除に活用した事例をご紹介します。

アグリ南すおう株式会社

山口県柳井市のアグリ南すおう株式会社は、18の集落営農法人とJA山口県南すおう統括本部が共同出資して設立した2階建て法人です。資材の共同購入や共同利用車両のレンタル、農作業の受委託調整（無人ヘリ防除含）を行っています。

Z-GISに会員法人の圃場を登録した台帳を作成し、無人ヘリ防除での活用を実証しました。

無人ヘリの防除受委託の課題

ヘリ防除を実施するにあたり、①委託者（農家・農業法人）による申込、②受託者側のとりまとめ・計画の策定、③実施内容の確認・請求といった手続きが必要になります。

委託者側は作業ごとに、「申込書（地番、面積、品種、田植え日等）」と防除を依頼する場所を作物ごとに色分けした「白地図」を提出します。圃場数が多くなると手書きの労力が増えることや、圃場の場所と地番・面積を正確に突き合わせることが課題となります。防除者側は、作業現場で白地図を確認しますが、地域ごとに様式が異なるため、縮尺や方角がわかりにくいといった課題があります。

Z-GISの活用による効果

今回、アグリ南すおう株式会社にご協力いただき、現行の作業受委託の方法と平行し、同社会員の2法人を対象に、Z-GISを活用した作業受委託を実証しました。

その結果、委託者からは現行の申込書や白地図の手書きを簡略化できる点、受託者側からはスマホ版Z-GISが搭載するGPS機能が現在地や圃場の特定に便利である点等を評価いただきました。また、委託者と受託者間では、「親子機能」を活用することで、防除の実施圃場の内容を共有することができました。

一方で、山間部では電波が届かないといったことや、当日の急な作業変更に対応するため、白地図の携帯は欠かせないことが確認できました。

今後は、今回対象とした2法人以外への展開や、Z-GISを用いた土壌分析結果の整理に取り組む予定です。



ヘリ防除の実施風景